

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	南あわじ市役所		代表者名	山家 光泰	
担当者部署	教育部		連絡先電話番号	0799-53-0234	
担当者役職	主任	担当者氏名	河野 沙織	連絡先E-mail	*****
住所	656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲300番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	フィールドワーク、セッション共に初めてで不安があったが、支援及びご助力により活発な意見や気づきのアイデアが生まれた。声掛けやキーワードもわかりやすかった。 職員ワークショップ後の打合せについても、今後の策定に向けての動きについての確かなアドバイスを受けた。予算取りや市民への動き方など、多くの図書館の事例を交えながら当市に合った方法を提示いただけた。
アドバイザーへの要望事項	ありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年2月29日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			15時30分	19時00分	15
			活動時間（分）	195	
3-2. 派遣場所	会場名	南あわじ市立図書館	最寄駅	福良（高速バス）	
	所在地	兵庫県南あわじ市福良甲300番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市民と図書館関係職員	24人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	第1回目は幹部から現場までの職員で図書館基本計画の勉強会を行い、知識として学び、第2回目は職員でフィールドワークによるワークショップを行い、実地研修した。 第3回目の今回は、図書館基本計画を策定するために必要な、市民の声と課題を把握するための市民対話のワークショップを試行し実地研修する。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	第3回目は、市民対話を行う上で重要な、話の方向性の舵取りを支援いただきながら、市民の積極的な意見を引き出し、市民が図書館に何を求めているのかニーズ把握することが目指す成果と考えている。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	市民対話のワークショップでファシリテーターをしていただき、南あわじ市立図書館の、貸出しだけでなく「場」としての可能性について、自己紹介の形で個人の体験や考えを話してもらいながら、前向きな意見をたくさん引き出していただいた。市民が主体となる方向性についてキーワードを交えながら、事例や考え方を示していただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	市民対話のワークショップは市内でもあまり試みがなく、職員は未体験で不安だった。参加市民では3分の1程度が経験者だった。岡本様の親しみやすいファシリテーターで市民の皆様も徐々に打ち解け、積極的に話してもらうことができた。また大変真剣に図書館という空間について話して下さる方が多く、市民に居場所、居心地としての空間の図書館を経験され、当館にも求めていることがわかった。職員の市民対話へのワークショップの不安は多少解消し、市民の様々な声を聞くことができた。課題まで集約されなかったが、気づきになる言葉は度々現れ、今後の計画案作成に役立つ内容だった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	中央公民館図書室の職員のフィールドワーク結果を役立てる機会が今回はなく、話をすることに終始したので、次は具体的なプランを話せるような市民ワークショップを設定し、少しずつ実現させながら基本計画にむけて続けていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 途中段階のため、アンケートはとらなかったが、閉会後も会話が弾み、なかなか帰らない人が多かった。新しい出会いの場となり満足度が高かったと考えられる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	図書館基本計画の策定が最終的な姿だが、来年度は、市民ワークショップを複数回開き今回来れなかった方たちのニーズ把握に取組み、地に足のついた計画になるように情報を収集する。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

